

有限会社知新堂

松本市中央2丁目3-17

事業内容 陶磁器小売、ライフスタイル
ショップのフランチャイズ運営、
不動産賃貸

創業年 1845年（弘化2年）

創業時の屋号 温故知新堂

創業時の事業 袋物と関連する小物類の販売



創業後、時代が明治に代わる激動期に、長野県下初となる新聞「信飛新聞」を発行。これを機に印刷・出版、書籍・文具の販売を開始。「信飛新聞」の初代編集長は、競売で売却された松本城の保存に尽力した市川量造。紙名を「松本新聞」に改めたころに編集に参画したのが松沢求策で、市川の後を受けて編集長に就任。自由民権運動を全国的に先導するも獄中死。ただ国会開設後には、創業者の窪田畔夫が議員に当選し、松沢の夢をかなえた。先人たちの故郷の発展に掛けた熱き情熱を次の時代につなげていきたいと思ひます。